



平成16年11月号 No.463

# 広報かなぎ



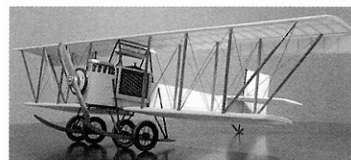
我が国初めての民間操縦士第1号の『白戸榮之助氏』（1886～1938）の功績を讃え、鳴海町長、白戸氏の兄の孫にあたる白戸せい子さん（五所川原市在住）ら関係者によって、顕彰の碑の除幕式が南新町のつかさ寿し前駐車場で行われました。

除幕式終了後、白戸榮之助研究会会長の久保泰太郎さんは「日本航空界に多くの功績を残した白戸榮之助氏の足跡をたどり、白戸氏をもっともっと知っていただきたい。観光の目玉にしたい」と抱負を述べていました。また、白戸せいさんは「感無量です。このような立派な碑を建ててください、ありがとうございます」と感謝のことばを話していました。

碑は、町特産のヒバ材（梶浦製材業寄贈）で、揮毫は県航空協会会長の大柳繁造氏によるものです。白戸榮之助氏が操縦した飛行機の模型（下澤力さん寄贈）は、交流プラザ内（金木駅）や津軽三味線会館内に展示されています。



民間操縦士第1号時に操縦した『奈良原式4号鳳号』（模型縮尺1/20）



大正8年、金木上空を飛んだ『白戸式旭号』（模型縮尺1/20）

## 白戸榮之助生誕之地 顕彰の碑建立

10月31日、関係者による除幕式が行われました。



町の花

さくら



町の鳥

ひばり



町の木

ひば

# 平成15年度 決算報告

## 一般会計実質収支 13,120万円の黒字決算

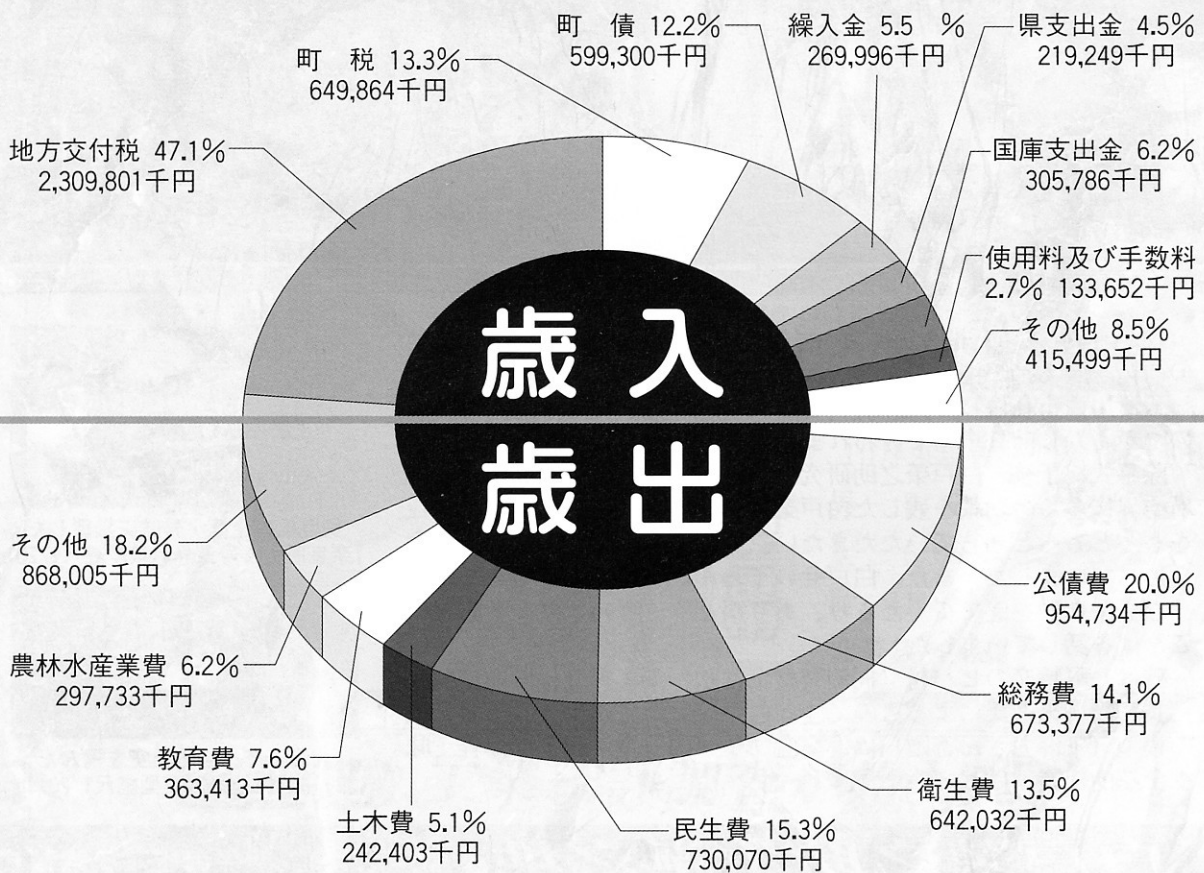
9月に開かれた定例議会で、平成15年度の一般会計と特別会計の各決算が認定されました。

一般会計決算額は、歳入総額で49億0,314万7,079円(対前年度比1.16%減)、歳出総額が47億7,176万6,942円(対前年度比1.91%減)となっています。

単純に差引いた形式収支の1億3,138万0,137円から、繰越明許費17万8,000円を差引いた実質収支は1億3,120万2,137円の黒字で、この内、9,120万2,137円を財政調整基金へ積立し、4,000万円を翌年度へ繰越しとなりました。

皆さんから頂いた税金や国からの地方交付税の使いみち等のあらましをお知らせします。

### 収入済額 49億0,315万円



### 支出済額 47億7,177万円

## 町民1人当たり使われたお金

総額 410,369円



※1人当たりの金額は、平成16年3月31日現在の町の人口11,628人で割ったものです。

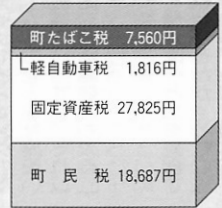
## 町税内訳

(単位：千円)

区分	収入済額	収入未済額
町民税	217,294	17,184
固定資産税	323,547	67,102
軽自動車税	21,111	1,029
町たばこ税	87,912	0
特別土地保育税	—	—
計	649,864	85,315

## 町民1人当りの税額

総額 55,888円



※1人当たりの金額は、平成16年3月31日現在の町の人口11,628人で割ったものです。

## 主な歳出の内訳

(単位：千円)

◆総務費・消防費	
地方バス路線維持補助金	8,605
市町村合併対策費	26,407
地籍調査事業委託費	3,934
賦課徴収費	15,412
行政電算処理委託料	7,198
旧喜良市小跡地駐車場整備工事費	5,670
常備消防費	283,792
消防施設費	29,728
◆民生費・衛生費	
介護保険事業費	146,625
中央老人福祉センター管理運営委託料	10,997
児童措置費	31,693
予防費	6,127
老人保険事業費	19,495
老人保険事務費	66,473
西北五環境整備事務組合負担金	62,090
公立木本病院組合負担金	198,563
◆農林水産業費	
適地適作推進事業補助金	9,017
水稲種子確保対策事業補助金	3,658
あおもり施設農業拡大対策事業補助金	7,874
あおもり「冬の農業」施設整備	4,411
転作中核集団育成対策費補助金	3,126
転作作物振興対策費補助金	5,239
生産調整協力奨励券交付事業費	11,053
◆商工費	
県信用保証協会(近代化資金)	17,000
商工会助成金	4,000
桜まつり助成金	5,910
芦野公園管理費	22,033
津軽三味線会館管理費	19,433
交流プラザ建築工事費	134,086
交流プラザ設計・監理費	7,560
既設駅舎解体撤去工事費	4,830
◆土木費	
広域農道防雪柵設置取納工事費	9,250
県営ふるさと農道緊急整備事業負担金	12,500
道路舗装及び側溝等整備工事費	24,975
防雪対策費	80,409
建物解体工事費	17,640
◆教育費	
金木小学校管理費	40,303
川倉小学校管理費	12,027
嘉瀬小学校管理費	22,613
喜良市小学校管理費	19,683
金木中学校管理費	33,784
金木南中学校管理費	30,138
公民館費	41,766
太宰治記念館管理運営費	19,889
海洋センター管理運営費	8,042
農業者トレーニングセンター管理費	5,522
体育施設費	4,117
◆その他	
農林水産業施設災害復旧費	32,288
道路災害復旧費	65,355
河川等災害復旧費	14,596

## 性質別経費内訳

区分	平成15年度	平成14年度	増減	
	決算額(千円)	決算額(千円)		
人件費	1,270,504	1,297,898	△ 27,394	
物件費	435,541	501,722	△ 66,181	
維持補修費	72,965	86,779	△ 13,814	
扶助的経費	257,264	147,213	110,051	
補助的経費	790,228	870,058	△ 79,830	
内訳	一部事務組合に対するもの	363,332	414,977	△ 51,645
	その他	426,896	455,081	△ 28,185
公債費	954,734	928,973	25,761	
内訳	元利償還金	954,521	928,731	25,790
	一時借入金利息	213	242	△ 29
積立金	65,142	44,396	20,746	
投資、出資金、貸付金	24,590	24,580	10	
繰出金	362,166	334,722	27,444	
投資的経費	538,633	628,148	△ 89,515	
内訳	普通建設事業費	419,314	579,461	△160,147
	補助事業費	16,380	96,024	△ 79,644
	単独事業費	390,084	474,645	△ 84,561
	県営事業費	12,850	8,792	4,058
災害復旧事業費	119,319	48,687	70,632	
歳出合計	4,771,767	4,864,489	△ 92,722	

## 特別会計

国民健康保険	歳入	1,354,091,796円
	歳出	1,267,701,529円
老人保健	歳入	1,120,740,607円
	歳出	1,125,606,816円
※差引不足額4,866,209円は、翌年度歳入繰上充て金で補填。		
農業集落排水事業	歳入	100,325,300円
	歳出	100,325,300円
介護保険	歳入	956,492,912円
	歳出	953,153,071円
水道事業	収益的収入	286,172,277円
	収益的支出	269,545,469円
	資本的収入	0円
	資本的支出	194,676,230円

※資本的収支差引不足額194,676,230円は、過年度損益勘定保留資金で補填。

# 議 論

## 加藤 磐議員

### ◎保育所の統廃合と川倉小学校の利用につ

「現在の計画では、四つの保育所の老朽化に伴い、川倉小に移転することを基本的に事業が進んでいるわけですが、川倉小の利用と保育所の統廃合は別個のものとして、見直す考えはないか。」「保育所以外にどういふものに使えるのか。適合するものとして、他にあったはず、検討されたのか。」「現在の保育所を金木、二つのものを一つ、そして嘉瀬、喜良市をそれぞれ残すことを前提にした場合の工事費の計算は。」

### 【答弁】

◆**鳴海町長**  
「四つの保育所は大部分老朽化が激しく、特にもみじ湯の所は雨漏りや土台、嘉瀬保育所はバスも入っていけない、駐車場もないというところで、何とかが四つを統合したいというところで、けれどもいろいろな話があり、今まで検討し、全員協議会議員全員の一一致をみて、学区民説明会、アンケート調査後、県へ申請し、来年認可がくるようであり、今まで話し合って何回も煮詰め結果でありますので、私は、これをあえて今やめるといふことは毛頭考えていません。」

### 【答弁】

◆**健康福祉課長**  
「営利を目的とした、又は利益をあげる場合を除く、保育所などをはじめとする児童福祉施設や老人デイサービスセンター及び特別養護老人ホーム等の老人福祉施設にわゆる社会福祉施設等が該当する。それ以外に公民館、図書館、博物館なども入る。」

### 【答弁】

◆**健康福祉課長**  
「個々の保育所を例えば一と二を統合するとか、三と四を統合するとか、それに対しての試算というのは一切したことはありません。」

「合併によって金木病院あるいは消防の機能はどう強化されるのか。」「町で運営してきた病院あるいは消防組合をどのように再編して五所川原と合併していいのか。また、負担金は多くなるのではなか。」

### 【答弁】

◆**鳴海町長**  
「合併したからといって金木病院がなくなるが、今の現状をさらに悪くするというのではなくして、現状をできる限り維持していきたい。私はできるならば、一年か二年延長して、新しい市長、新しい町長が決まったら双方で決めていただけたら田舎に行くのではないかと認識をもっております。皆さんの話を聞きながら一番いい方法を頑張りたいと思っています。」

「五所川原と合併した場合は、板柳も鶴田も中里も小泊も入って消防一部事務組合をつくられたら、私は一番経費の削減になって合併のメリットもあると思います。」「ボランティアの有償化について」

### ◎ボランティアの有償化について

「斜陽館の持つ意義あるいは由来を積極的に町から発信するようは、こういう仕組みができたのに対しては、誠にありがたい感謝しておるわけですが、ボランティアとはいえ、案内する接遇や知識を二十分から二十五分での限られた観光客の時間の中に食い込んでアピールしていくために、その技術向上させるためにも積極的に予算を投入して行へべきだと思いますが、その点についてお考えを聞かせたいです。」

### 【答弁】

◆**教育長**  
「今後の課題としては、やはり長期的に継続的にやるためには、有償化の方向で進めないと無理が出てくるようです。町長の理解を賜りながら、財政と交渉し有償化を検討して行きたいと考えております。ただ、有償額を幾らにするのか、時間をどうするのか。他のガイドはどのくらい支払っているのか。今調査中でありまして、その反面、有償化になるとそれが強制的になって拘束されるのは…という方もいますので、

それら意見も十分含めながら長期的に継続し、自信をもってやれるように努めます。」

## 伊藤永慈議員

### ◎合併協議会の第一小委員会、第二小委員会の協議事項について

「第一小委員会については、いろいろな情報が開示されていますけれども、第二小委員会につきましては、議論も公開もされておいてはないか。金木町長期計画をみますと余りにも大まか過ぎ、具体性がないような感じがする。やはり、地域審議会などを早く制定し、私たちを踏まえた議論や各セクション、専門知識を持っている方などの議論が必要なのではないか。」

### 【答弁】

◆**鳴海町長**  
「伊藤議員のご指摘はもっともだと思います。本当に具体性にかけている点もありませんので、よい金木町をつくるためには議論し、金木町がどうするべきか検討する余地があると思います。これから皆さんと相談し、検討してみますのでよろしくお願ひします。」

### 【答弁】

◆**合併対策室長**  
「第一小委員会は、新市の名称、事務所の位置そして、特別職の身分、機能及び組織、地域審議会、地域自治区、農業委員会委員、協議会議員の任期及び定数などの取扱でございます。又、これ以外に各種委員会等を含めて十一項目が第一小委員会に付託されております。第二小委員会については、新市計画の項目だけの審議で、新市建設計画の中に掲載する三市町村の主要事業、これについてどういう方法で掲載するのか、どのように反映させていくのかこれから審議することになってまいります。」

### ◎法定協の期限について

「支援プラン一年延長によって特別交付税などの各支援が来年三月に合併すると変わることも一年延長するのとお尋ねいたします。」

### 【答弁】

◆**合併対策室長**  
「来年の三月三十一日までに合併協議を終え、県知事に対して合併申請をして、な

おかつ十八年三月三十一日までに合併した場合は、いろいろな財政支援措置が受けられる内容で、特別交付税、国の補助金、県の補助金合わせて三市町村十五億三千万円ほどになります。国、県の予算協議が済めばその結果が反映されるということなので、今は不透明な状況にあります。」

## 外崎 茂議員

### ◎普野団地東地区の消火栓設置について

「先般、当地区で火事があり、消火栓がなく、踏切を渡り、工藤木工所前の消火栓を使用したとのことでした。列車も通り、非常に危険を伴います。東地区に消火栓の設置をお願いします。」

### 【答弁】

◆**鳴海町長**  
「消火栓整備は、町民の財産と命を守る、なくてはならない施設ですので、担当課と話しながら、その機能を果たすような消火栓を前向きに検討していきたい。」

### ◎高流道踏切について

「高流道踏切は非常に狭く、車一台通るのが精いっぱいでありまして、小・中・高の通学路でもあり、せひとも拡張工事をお願いしたい。また、これまでの経過や経緯と今後の計画をお知らせ願いたい。」

### 【答弁】

◆**鳴海町長**  
「私もあそこを歩くたびに狭いなあ。花見時は車が渋滞して、何とかならないかなあと思ひ、津軽鉄道と折衝したこともあります。聞くところによりますと、踏切交差点の角度が四十五度以上なければいけない。また、三ノメートルの直線がなければいけない。と非常に厳しいようであります。私も気になっておりますので協力できるものならば、協力する人を探して、常任委員会等で前向きに検討したい。」

### 【答弁】

◆**水道課長**  
「昭和五十一年に国の補助事業で踏切道の改良も入っていたわけですが、補助金の額も決定なりまして交渉したわけですが、その時の報告書を見ますと、三人の方が用地交渉に応じなかった。それで補助金を返還している経緯がございます。また、平成三

年に入りまして、起債事業でこの路線の改良計画がありまして、測量を打ったとき、用地交渉の同意を得られなかった経緯もござります。」

### ◎普野団地田村邸と坂本邸の間の道路について

「田村邸と坂本邸の間が道路舗装になっていない。拡張工事の予定はないのか。」

### 【答弁】

◆**鳴海町長**  
「できれば合併前に道路の拡幅をして舗装したい。常任委員会等で前向きに検討したい。」

### ◎合併後の職員定数について

「合併後三年間は職員の新採用を見送り、職員を五十人削減して四百八十人とし、合わせて〇五年度から〇七年度までは、定年退職者の補充もしないというつもりで、〇五年度から〇八年度の四年間に新規採用三人以内、〇九年度で四十八人とするつもりですが、どのような経緯と経過で変更になったのか。」

### 【答弁】

◆**合併対策室長**  
「小委員会委員の方から、合併後三年間職員採用がなければ、職員の間で断層ができて、事務事業の遂行や行政サービスの低下等が懸念されるなど困難な状況になり、人事上問題になる。財政推計条件を緩和してはどうかという意見、職員採用を控えるよりも、収入役の未設置、常勤監査委員を非常勤化するとか、そういうことへの着手が先ではないかという意見が出されました。委員会の中で協議した結果、二十年度までの四年間は、職員採用上限を三人とするなど財政計画条件を緩和したということですが、職員採用を助長するとかということは一切ござりませんので、ご理解をいただきます。」

### ◎合併後の財政見通しと税金の推移について

「借金のピークが平成二十二年でござりますので、この前後が財政的には非常に厳しい内容となっております。基金等の取崩しを行いながら、収支の均衡を図るとい

う見通しです。二十四年以降については合併による削減効果があらわれまして好転すると思われま。あくまでも財政見直しでございますので、国の制度改革あるいは景気の動向等によって左右されることが十分ございますので、理解をお願いいたします。」

#### ◆税務課長

「確定ではありませんが町民税は、五所川原、金木、市浦ともに税率、均等割とも同じです。法人税の均等割は、若千五所川原の方が高いございます。今の段階では二、三年後不均一課税、いわゆる金木は金木なりの課税をしていく予定です。固定資産税は、五所川原市の方が若干高いございます。税率にいたしますと、金木・市浦が百分の一・四、五所川原が百分の一・六です。これも不均一課税やる方向で動いていませ。」

#### ◎合併によるメリットデメリットについて

「新合併によるメリットデメリットをお知らせ願いたい。」

#### ◆町長

「メリットといたしますと、私は第一に、これから市に昇格する。これが一番うれしく思っています。また、特別職、議員、職員削減によって行政の効率化が大いに喜ばれるのではないかと思っています。デメリットは、行政の面積が広くなり、行政サービスの低下や文化・芸能がそのまま継続できるか、そういう点を危惧しております。これからの地域審議会等で十分審議して、町の姿を残していきたい。」

#### ◎政府による合併支援プランの一年延長について

「合併支援プランが一年延長になったことについての感想は。」

#### ◆町長

「国の補助金等も含めた支援プランを一年延長すべきであるあと残念に思っています。」

#### ◆秋元洋子議員

◎金木駅舎について

「交流プラザの使用状況と清掃はどのようになっていますか。苦情はないですか。」

#### ◆町長

「苦情は、やはり避けなければいけませんので、町でも委託している以上は余り口出しをしたくないわけでありまして、あまり頻繁に苦情があるのであれば、お話をしてみたいと思っておりますのでよろしくお願いたします。」

#### ◆企画観光課長

「利用状況でございますが、今年一月から今までの利用状況は、メロス坂商店会が三回、商工会青年部が一回、南新町老人クラブが一回、交通安全協会金木支部が一回、南新町内会が十回の計十六回となっております。清掃関係は、時間を決めて清掃しているわけではなく、随時、見回りをして汚れがひどい場合は適宜清掃しているというふうな状況でございます。」

#### ◎総合保育所の件について

「川倉小学校が木造という事で、防火対策と消防設備はどうなっているのか。」

#### ◆町長

「保育所に使用した場合は、建築基準法から、例えば一階の部分であっても壁とか天井はすべて準耐火構造にしなければならぬ基準がございますので、それのところで基本設計を積算していただくのであります。」

#### ◆健康福祉課長

「現在、川倉小学校防火扉は、体育館の入り口の渡り廊下、職員室前、給食堂へ行く廊下の三方所についております。これにつきましては、引き続き使用する予定であります。また、保育所となりまして、非常用電源いわゆる自家発電機が必要になり、一基設けることになっております。建物東側に消火栓が増設になります。また、スプリンクラーの設置、これまでは保育所一階のみ使用することからスプリンクラーの設置までは義務付けられておりませんが、非常用電源として大体三百六十万円、屋内消火栓

として三百万円となり、もうもろびとへおめまして二千万円ほどになります。」

#### ◎障害者への大型バス貸し出しについて

「先般、身体障害者総会への大型バス貸し出しについて、障害者側と福祉関係の間で行き違いがあったかと思いますが、大型バスは二十人以上でないと貸し出しできないということを総務課長から聞きました。身体障害者についてだけということに限らず、緊急に要した場合、特別の条項をつくらぬものか。」

#### ◆町長

「総務課長が言ったとおり、改正すればできるということでありまして。私はそれよりも、素早く対応するべきだと思っております。改正するまでもなく対応するよう心がけますので何分よろしくお願いたします。」

#### ◆助役(社会福祉協議会会長)

「来年からは、きちんと車を準備してから総会を開くように、厳重に言っておりますので、今後その心配はないと思っておりますので、よろしくお願いたします。」

#### ◎社会福祉協議会の剰余金について

「社会福祉協議会でお金が余っているのに、それを使えない現状をどのように思いますか。」

#### ◆町長

「幾ら余ったお金でも違法性のあるものは支出してはいけないというところがございますので、少しでも町民のためになるように社協と助役の方とも連絡を密にしながら一度と世間を騒がせないように頑張りたいとおもいます。」

#### ◎中央老人福祉センターについて

「玄関の手すりはステンレスでできています。冬期間、冷たくなれば非常に凍結し夏場は熱くてつかめないという言葉がございましたので、何か好転ができるような手すりに換えられないものかお聞きたい。」

#### ◆健康福祉課長

◎側溝排水等について

「玄関真ん中にも手すりがあった方がいいという事で、両側にステンレスの手すりがあったので、それと同じものというふうにも安易に考えて設置したわけでは、何かあの上にかバーでできるものを早急に検討してみたいと思っております。脱衣所のカーペットにつきましては、一度も交換していない。確かに不衛生な点が多々あるかと思っております。また、その上についています扇風機も故障がちということで、毎年一千九十万円以上の金をもって委託契約していたいたしている中で修繕が可能かどうか早急に交渉したいと思っております。」

#### ◎物産館駐車場の活用について

「物産館奥にアートを建てて、野菜とかそういうものを農家の方々、一般の方々に場所を提供すればどうかということがありますが、その後どうなったかお知らせください。」

#### ◆企画観光課長

「七月に募集をかけた上で、八月一日から新たに販売業者が一人、一業者が入っております。使用料も二千円であったものが千円に安くなって、出店業者が利用しやすい体制を整えております。これも来年三月三十一日までの期間になっており、新年度になれば新たに募集をかける予定です。」

#### ◎側溝排水等について

「側溝排水の流れが非常に悪い、各地区において非常に草が伸びている。排水を妨害している。という苦情がたくさんありますので、早急に対応していただけたらどうか。」

#### ◆建設課長

「昨年、一昨年は緊急雇用対策事業で、昨年は六百万円の予算で草刈の回数を多く、側溝の整備も隅々までできたわけですが、県の意向で、何年も続くのであればためです。ということと、十六年度では見送ったわけですが、苦情のたつた箇所については、シルバー人材センターでできるものは、シルバー人材センターにお願いし、予算の範囲内でやっております。今後その場所を確認して対応したいと思っております。」

## 五所川原・金木・市浦 合併協定書に調印

十月十九日、プラザマリニュー五所川原で合併協定調印式が行われました。  
蝦名副知事をはじめ、市町村関係者など約百名が出席し、成田守五所川原市長、鳴海義男金木町長、高松隆三市浦村長による合併協定書に署名が行われ、鳴海町長は「やっと結婚式ができた。感無量です」と合併への思いを述べていました。  
平成十七年三月二十八日の合併へ向けて「活力ある・明るく住みよき豊かなまちづくり」が始まりました。



協定書に署名する三市町村長

## 市町村合併 町民懇談会開催

十一月十日、中央公民館で市町村合併町民懇談会が開催されました。  
鳴海町長は「今日のご意見を拝聴し、今後の合併協議に反映したい」とあいさつを述べられ、合併対策協議会事務局から「新市建設計画概要表」等について説明されました。  
その後、参加した町民から「合併後の農業情勢」や「合併後の各種使用料・手数料取扱の調整内容方針」「合併後の行政サービス低下の懸念」など多くの内容について意見交換がなされました。

# 金木町産業文化まつり開催

11月2日から4日までの3日間、中央公民館と農業者トレーニングセンターで『産業文化まつり』が開催されました。あいにくの雨模様の天候でしたが、訪れた皆さんは、文化と芸術に触れ、秋の収穫・味を満喫していました。

## 文化まつり

第1保育所



あしの園生と大東ヶ丘サントピアホーム・サンライフ金木入所者の作品やさき織り・絵手紙教室、金木短歌会、金木俳句会、書道など数多くの素晴らしい作品が会場いっぱい展示され、大ホールでは、町内保育所・金木幼稚園児たちの学芸発表、公民館教室・サークルの人たちや町内芸能団体による歌や踊りなどを披露し、会場から大きな拍手が送られていました。

また、平成16年度「太宰文学読書感想文」応募作品の中から、小中高校生の代表7人が朗読発表と表彰式なども行われていました。

金木幼稚園



朗読発表者



芸能発表



## 産業まつり

稲わらなどを使った手作り『かかし』が飾られた通路を抜け、美味しい香りが漂う農業者トレーニングセンターでは、農産物加工品などの消費拡大を目指す実演・試食・即売や地元業者の出店などで賑わいを見せていた。また、幼児・小・中学生の絵画や書道、図工作品などが展示され、大いに賑わいを見せていました。

会場でお買い物した方に配布されたお楽しみ抽選券で、米一俵を当て、当選合図の鐘の音が高らかに鳴り響いていた。

稲わらで作った「トラクター」



「かかし」が出迎え



錦石展示



玄米100粒で賞品ゲット

